

令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	1	科	全学科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2、使用教科書・副教材

実教出版「新家庭基礎 パートナーシップで作る未来」
 実教出版「ニューライブラリー家庭科」 啓隆社「家庭科ノート」

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	【自分らしい生き方】 ・自立した生き方、共に生きる人生、労働と生活時間	課題提出 期末考查	10
	5月	【衣生活をつくる】		
	6月	・人と衣服のかかわり、衣服の素材		
二学期	7月	・被服製作実習（エプロンの製作）	課題提出 期末考查	28
	8月	・衣服の管理		
	9月	【食生活をつくる】 ・私たちの食生活、栄養と食品のかかわり		
	10月	・食事の計画と調理 ・調理実習（全3回）		
11月	【住生活をつくる】 ・人と住まいのかかわり 健康的な住まい環境			
三学期	12月	【家族】 ・共に生きる家族、家族に関する法律	課題提出 期末考查	22
	1月	【高齢者とかかわる】 ・高齢社会、高齢者の生活と福祉		
	2月	【子どもとかかわる】 ・子どもの発達、子どもが育つ環境と福祉		
	3月	【消費行動を考える】 ・消費行動と意思決定、消費者の権利と責任		

4、評価の方法

主体的な言語活動	意見や疑問を発する機会、グループ活動において他者と意見交換する機会を設ける
関心・意欲・態度	授業態度、提出課題、出欠席等の状況から総合的に判断する
思考・判断・表現	発問に対する回答、実習の計画や振り返りにおける思考過程等から総合的に判断する
観察・実験の技能	実験実習を通して基礎的な技能が定着したか判断する
知識・理解	定期考查、提出課題を通して基礎的な知識の定着と理解の深まりを判断する

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・提出課題は、期日までに必ず完了する
- ・授業で得た知識を、実生活における観察・考察・判断に生かす姿勢を持つ